令和８年度　立科中学校グランドデザイン

すべての子どもたちに「ちから」をつける「立科教育」の推進

学校教育目標　　健康で粘り強い心と身体「強く」　深く確かな知識「明るく」　思いやりのある美しい心「温かく」

《願う生徒像》

【強】心身ともに健康で、目標（自己実現）に向かって、粘り強く取り組む生徒
【明】柔軟な思考力と豊かな創造性で社会の変化に対応し、主体的に学ぶ生徒
【温】人権感覚を高め、五感を使い、自分自身や他者の感情に共感できる豊かな心情をもつ生徒

《令和８年度の重点となる活動》

重点１「たくましく柔軟な心・自分も仲間も大切にする活動」
- ◯多様な他者と協働して、主体的に企画推進する力を育てる生徒会活動
- ◯自己の生き方を考え、主体的に判断し、他者とともによりよく生きる態度を育てる道徳教育
- ◯心身の健康に関心を持ち、自ら進んで健康の保持増進のための実践力を育てる健康教育
- ◯差別やいじめを許さない社会を主体的に築きあげる人権教育
- ◯体験や経験、活動を通して、互いを認め合い、高め合う集団づくり

つなげる

重点２「自ら考え、共に学ぶ学習活動」
- ◯生徒が「問い」をもち、探究的に取り組む授業
- ◯対話的な学習により、お互いが学び合う授業
- ◯ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体化の充実
- ◯基礎基本の定着や興味関心が深まる自主学習の推進
- ◯評価や各種検査を生かした授業づくり

重点３「地域を知り、地域で働き、地域に貢献する活動」
- ◯地域のフィールドワーク、職場体験学習、福祉体験等、地域を活用した「総合的な学習の時間」の推進
- ◯夢の実現に向けたキャリア教育
- ◯社会福祉協議会と連携したボランティア活動
- ◯地域と歩む「部活動」

教師の姿勢
- ・生徒とともに創造する授業
- ・生徒の思いに寄り添った支援
- ・同僚性を生かした職員研修
- ・「立科ｺﾐｭﾆﾃｨｰｽｸｰﾙ」との連携
- ・地域と協働した学級づくり
- ・ひと・もの・ことの活用

小中連携
- ・小中の職員交流
- ・教育課程に即した小中合同研修
- ・算数数学の乗り入れ授業
- ・授業公開と相互参観
- ・校務ごとの係会
- ・行事を通した小中高生の交流